



2026 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社めぶきフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 秋野 哲也
(コード：7167 東証プライム)
問合せ先 経営企画部統括部長 田中 正樹
(TEL：029-300-2605)

業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 13 日に公表した 2027 年 3 月期の連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 69,000	百万円 47,000	円 銭 50.07
今回修正予想（B）	82,000	56,000	59.66
増減額（B－A）	13,000	9,000	
増減率	18.8%	19.1%	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2026 年 3 月期第 2 四半期）	59,694	43,773	46.03

(2) 2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 139,000	百万円 95,000	円 銭 101.21
今回修正予想（B）	153,500	105,000	111.87
増減額（B－A）	14,500	10,000	
増減率	10.4%	10.5%	
（ご参考）前期実績 （2026 年 3 月期）	115,668	84,163	89.03

(2) 修正の理由

2026 年 6 月における日本銀行による政策金利の引き上げ等を背景に、貸出金および有価証券の運用利回りが上昇いたしました。これにより、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が当初予想を上回る見通しとなったことから、2027 年 3 月期の連結業績予想を上方修正いたします。

【ご参考】子銀行（単体）業績見込み

2027 年 3 月期第 2 四半期							(単位：億円)	
	銀行単体合算		株式会社常陽銀行		株式会社足利銀行			
			前回予想比	前回予想比	前回予想比	前回予想比		
経常利益	795	+130	540	+95	255	+35		
中間純利益	550	+90	375	+65	175	+25		

2027 年 3 月期通期							(単位：億円)	
	銀行単体合算		株式会社常陽銀行		株式会社足利銀行			
			前回予想比	前回予想比	前回予想比	前回予想比		
経常利益	1, 500	+145	980	+90	520	+55		
当期純利益	1, 030	+100	675	+65	355	+35		

2. 配当予想の修正（増配）について

(1) 2027 年 3 月期 配当予想の修正（増配）

	1 株当たり配当金		
	中間	期末	年間合計
前回発表予想 (A)	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 40.00
今回修正予想 (B)	22.00	22.00	44.00
増 減 額 (B－A)	+2.00	+2.00	+4.00

ご参考	1 株当たり配当金		
	中間	期末	年間合計
前期実績 (2026 年 3 月期) (C)	円 銭 12.00	円 銭 16.00	円 銭 28.00
増 減 額 (B－C)	+10.00	+6.00	+16.00

(2) 修正の理由

2027 年 3 月期通期の親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想を上回る見込みとなったことから、当社の株主還元方針（利益成長を通じた 1 株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本とし、配当性向は 2027 年度までに 40%以上へ到達を目指す）に基づき、2027 年 3 月期の 1 株当たり配当予想について、中間配当金及び期末配当金をそれぞれ前回予想より 2 円増配の 22 円に修正いたします。これにより、年間配当金は前回予想から 4 円増配の 44 円となる予定です。

※ 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以上